

## 平成 27 年 7 月総務企画委員会 議事概要

H27.8.5 作成

日 時：平成 27 年 7 月 21 日（火） 18:00～19:40

会 場：建築士会 会議室

出席者：(担当副会長) 長田 喜樹

(委員長) 芝 京子 (副委員長) 山成 芳直

(委員) 天神 正志、加藤 高明、玉野 直美、沼田 有二、八重野 みどり

(事務局) 須藤専務理事

### <確認事項>

#### 1 前回(6/16)議事録の確認【資料1】

メーリングリストで事前送付済みであり、加除等があれば事務局に連絡いただくものとして承認された。

### <協議事項>

#### 1 7/31(金)開催予定 第 349 回神奈川県建築士会理事会について

- ・以下の予定議案及び報告事項の項目案を専務理事より説明

議案 ①H27/28 年度の体制【別紙資料】

②役員報酬基準【別紙資料】

③連合会依頼事項(受験資格改善要望)の検討の進め方

④入会承認

報告事項 ①会員増強の進め方【別紙資料】

②関ブロ青年協議会における本会会員プレゼンテーションの再演

③活動交流会横浜大会の準備状況【別紙資料】

- ・議案①②及び報告事項①について副会長から、議案④及び報告事項②について、専務理事から、報告事項③について副委員長(横浜支部長)から、それぞれ説明。
- ・報告事項①「会員増強」について各委員から次の意見あり。

(副委員長)「会員増強」は新規会員獲得が中心との印象が強いが、既存会員に対する魅力向上も視野に入れるべき。

(委員)教育講習委員会で参加者にアンケートを取ったところ、今までにない積極的な反応があった。まだまだ掘り起こせるニーズがあるはず。

(専務理事)いずれにしても大上段に構えた増強策というより、やれるところからどんどん始めるというイメージか。

(委員)「会員増強は総務企画委員会」というイメージが固定してはまずい。全会的な取り組みが必要。

(委員長)歴史的建築物というテーマは会員内外の関心が高い。こうしたテーマへの取り組みが増強に結びつかないか。なお、「あり方・会員増強委員会」が発足する場合、総務企画委員会も積極的に加わるべきだし、幅広い人選を期待したい。

(委員)H26年度の「会員増強」の取り組みはスピード感が欠けていたと感じる。今回の再スタートで留意すべきは、5月の総会でも見受けられた長寿会員の不満。長年の士会への貢献が報われず、会費減額は廃止されるなど、今の士会に居場所がないとの思い。

こうしたシニア会員のノウハウを生かしてもらえそうな事業を、新たに構想してみてはどうか。

また、かつての青年委員会が「確認指南」を手掛けたように、出版事業への取り組みも会員増強の契機になるのではないか。

## 2 建築士試験の受験資格である実務経験要件 アンケート調査について【資料2】

7/31 理事会の予定議題とすることとあわせて、受付業務で実務要件審査を担当した会員へのアンケート調査結果を専務理事より説明。多様な意見が寄せられたため、さらに広く会員一般へのアンケートを行いたい旨を付言。

(委員) 公務員には、建築士資格取得の意欲はあっても、まちづくり業務等がカウントされないため、受験できないという問題が実在。

(委員) 教員にも同じ問題あり。ただ、建築界内部だけでなく、一般市民からみて、どうなのかという視点も必要ではないか。

(副委員長) 既に建築士資格を取得している人たちの既得権擁護に陥らないか、との配慮も必要。

### <報告事項>

#### 1 7/5 二級建築士学科試験について【資料3】

#### 2 7/26 一級建築士学科試験【再掲 資料3】

一括して専務理事から説明。

#### 3 各種行事情報 (6/27 地引網、7/30 建築会議、10/30～31 全国大会)

#### 4 各委員会情報

(委員長) 過日の技術支援委員会の省エネ講習会と、福利厚生委員会のバスハイクの日程がバッティングし、参加者確保が懸念されたところだが、それぞれ 130 名、49 名の参加で事なきを得た。テーマ設定の重要性を感じたところ。

(副委員長) 各支部・委員会のイベントは、できる限り、会員全体がオープンに参加できるような方向が望まれるので、8/21 の支部長会で提起したいと思っている。また、全国大会への参加者ももっと掘り起こしたいところだ。

### <その他>

#### 1 次回の委員会について

8/18 開催の案も出たが、例年どおり 8 月は休会とし、9/15(火)とした。

#### 2 その他

平成 27 年 7 月 31 日 (金) 午後 理事会 (神奈川県建設会館 2 階講堂) 以上